

# 生活道路の整備により、延焼危険性を低減・避難経路を確保する（大阪府門真市）

事業者：大阪府 門真市 地域整備課



門真市 北部地区 古川橋駅北  
幅員9.2mの道路を創出

## 対策名：8 地震時等に著しく危険な密集市街地対策



主たる施策グループ：1-2) 地震に伴う密集市街地等の大規模火災の発生による多数の死傷者の発生

## 事業名：住宅市街地総合整備事業（密集住宅市街地整備型）

- ポイント**
- 密集市街地において、沿道の燃えやすい老朽建築物を除却し、主要な生活道路を整備
  - 延焼の危険性を低減するとともに、緊急車両の通行空間及び緊急時の避難経路を確保

### 地域の概要・課題

昭和40年前後に文化住宅、長屋住宅等が、道路・公園等の公共施設が未整備のまま大量に建設された結果、老朽住宅が密集した地区が形成され、防災上、居住環境の面で問題を抱えていました。

地区内では木造賃貸住宅等の老朽化や空家の増加が進んでおり、地区の衰退と住環境の悪化が著しく、また、生活道路が改善されないまま、家屋等の建て詰まりは解消されていない状況でした。

### 事業の概要

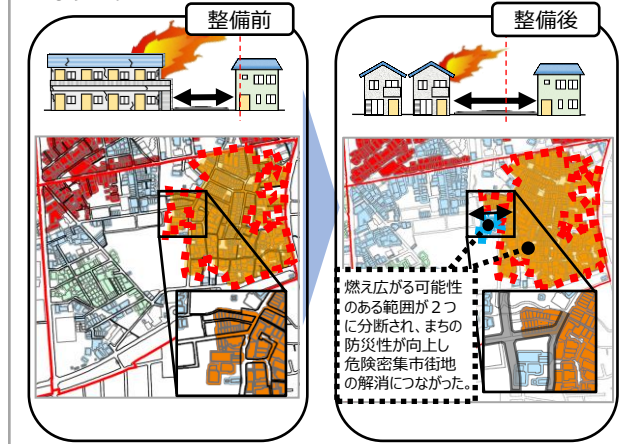
本地区では、老朽建築物等の建替えと公共施設の整備を促進し、住環境の改善及び防災性の向上を図るため、住宅市街地総合整備事業を実施しています。

本事業を活用して、道路の整備や老朽建築物の除却・不燃建築物への建替え更新など、密集市街地の改善を推進しているところであり、老朽建築物が密集するエリアにおいて、幅員9.2mの生活道路の整備を実施しました。

### 見込まれる効果

主要な生活道路の整備により、沿道の燃えやすい老朽建築物が除却、道路空間が確保されたことにより、延焼の危険性がある範囲が分断され、まちの防災性が向上します。

また、道路の拡幅により、緊急車両の通行空間を確保するとともに、災害時において、円滑な避難が可能となります。



1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策  
(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンス  
への転換に向けた老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進  
デジタル化に関する施策の

(2) 伝達の高高度化  
災害関連情報の予測、収集・集積・